## 2010年12月期 第1四半期決算 参考資料<連結>

(単位:千台•億円)

				(単位:千台·億円)			
		前第1四半期実績		当第1四半期実績		当期予想	
		2009年1月~3月		2010年1月~3月		2010年1月~12月	
売上高		2,665	(△35.5%)	3,099	(16.3%)	12,500	(8.4%)
国内売上		295 (△27.7%)		351	(18.9%)	1,350	(3.5%)
海外売上		2,370 (△36.3%)		2,748	(16.0%)	11,150	(9.0%)
営業利益		$\triangle 155$	(-)	96	(-)	100	
〈営業利益率〉				<3.1%>		<0.8%>	
経常利益		$\triangle 163$	(-)	155	(-)	100	
〈経常利益率〉		_		<5.0%>		<0.8%>	
四半期(当期)純利益		$\triangle 158$	(-)	75	(-)	0	
〈四半期(当期)純利益率〉				<2.4%>		<0.0%>	
		(増益要因	3)	(増益要因)		(増益要因)	
		販管費の減少	78	販管費の減少	112	売上増による	317
		700 11 20 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	10	為替の影響	51	荒利の増加	011
増減要因		調達による 原価低減	15	減価償却費の減少	45	調達による 原価低減	110
				売上増による 荒利の増加	33		0.40
(営業利益ベース)		原材料価格 変動影響	18			販管費の減少 減価償却費の減少	249
				研究開発費の遅れ による減少	24	例间便到其少例少	104
		(減益要因)		調達による	1.4	商品構成変化等	210
		商品構成変化等	△115	原価低減	14	(うち、国内増産影響	270)
		為替の影響	$\triangle 295$	(減益要因)		(減益要因)	
		減価償却費の増加	$\triangle 6$	原材料価格	$\triangle 7$	為替の影響	$\triangle 115$
		売上減による	△160	変動影響		原材料高騰影響	$\triangle 110$
		荒利の減少	△100	商品構成変化等	$\triangle 20$	研究開発費の増加	$\triangle 39$
	(I I C (b )	0.4 111		0.1 [7]		00111	
為替レート (US\$) <sup>(換算レート)</sup> (FUR)		94円		91円		88円	
(LUII)		122円		125円		128円	
二輪車販売台数合計		1,269		1,605		6,549	
	国内	28		24		110	
海外		1,241		1,581		6,439	
	北米	40		17		56	
欧州		76		54		262	
	アジア	1,034		1,414		5,689	
	その他	91		96		433	

\*カッコ内: 前年同期比の増減率%(小数点第2位を四捨五入)

<sup>※</sup>上記の連結業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的と判断した見通しであり、実際の業績は、 経営環境の変化、市場の需要動向、為替の変動等により、大きく異なる可能性があります。